

## 理科・環境教育助成 成果報告書

第3回 期間：2005年11月～2006年10月

氏名： 影山 房典

所属： 上三川町立明治中学校

課題名： 自然体験活動を通じた心の教育の推進

### 1. 課題の主旨

社会体験や自然体験等、直接的体験活動の機会が少なくなりがちな中学校において、「ひと」・「こと」・「もの」とのかかわりを深め、知・徳・体の調和のとれた、豊かな人間性を育てる。

また、諸活動を通し、生徒相互及び生徒と教師、保護者との豊かな人間関係を築き、自然への愛着を深めるとともに、母校や郷土を愛する心を育む。

### 2. 活動状況

理科の授業、「若葉タイム(総合的な学習の時間)」や「学校行事」、「生徒会活動」、「PTAと連携した活動」、「生徒の自主的活動」等を生かした自然体験活動、勤労生産的活動、環境緑化活動等を進めることにより、互いに協力し合い、勤労の尊さを体験し、心豊かな人間性を育んできた。活動の概況は以下の通りである。

#### (1)【教科】：1年理科 植物のくらしと仲間

「植物のくらしと仲間」の単元で学区内の動植物調べをした。この学習をきっかけに、学区内の自然環境に目を向けることはもちろん、学区内の絶滅危惧種の存在に気づき、その調査に発展し、環境マップをつくりの成果を発表した。また、夏休みの自由研究にも地域の動植物について調べる生徒も多く見られた。

#### (2)【総合的な学習の時間】：1年生総合の学年テーマは「地域に生きる」。

学区内の(田川や水辺公園)の自然やふくべ細工(上三川町の民芸品)等、地域の教育素材に目を向けた課題設定をした。

【みどり活動】 全校生徒で取り組む。 時間の特設や、清掃の時間延ばして活用した。

活動内容は以下の通り。

- ・農園活動： 農園での野菜づくり 学校農園整備(種まき、苗植)

学校農園に学年ごとにサツマの苗を植える。その他 サツマイモ だいこん すいか トマト

- ・学校林整備： 下草かり 枝払い 腐葉土づくり

- ・花壇の整備： 草花の苗植え、除草 校舎周辺や庭園の花壇に季節の草花を植え潤いのある環境づくりに取り組む：・フラワーベルトづくり：サルビアのフラワーベルトを校庭周辺につくる。

- ・校庭除草： 校庭、花壇及び農園の除草

・校内樹木マップづくり：校内樹木の名札プレート87種類にネームプレートを取り付ける。校内樹木の名札プレート87種類にネームプレートを取り付ける。(4)【委員会活動】

- ・花壇、農園等の管理
- ・環境緑化の推進

- ・「みどりのコーナー」の掲示物の作成： 活動の情報センターとして機能し、生徒の意欲・関心を高めることができた。

#### (5)【部活動】：美術部 美術部が部活動の一貫としてみどり活動を盛り上げた。

- ・モザイクアートによる花壇の整備
  - ・草花のスケッチ作品掲示
- (6)【PTAとの連携】：年2回土曜日に行われるPTA整備作業に生徒も一緒に活動をした。
- ・PTAと合同での花壇作り・フラワーベルトづくり 除草、花壇整備 樹木剪定

### 3. 結果

- ・ひと(生徒・教師・保護者)もの(動植物・地域の自然等)こと(自然体験・勤労体験・観察・人とのかかわり等)との豊かなかかわりの中で豊かな心が育ってきた。
- ・学校内の環境緑化が進み、心の居場所・安らぎの場としての環境整備が進んだ。  
校内や学区内の自然を調査・観察することにより、そのよさを再認識し、母校愛や地域を愛する心が高まってきた。
- ・PTA活動で生徒、保護者、教師が共に活動をするにより、学校の教育活動への保護者の関心がさらに高まってきた。
- ・自然環境への興味・関心が高まり、新たな学習や活動のきっかけとなっている。

### 4. 今後の課題と発展

- ・校内、地域の教育素材の開発が十分ではなかった。今後さらに地域学習を「教科」や「総合的な学習の時間」を中心に取り組んでいきたい。
- ・学校林の活用が少なかった。今後、活用プログラムを開発していきたい。
- ・1学年の理科及び「総合的な学習の時間」については、入学後の指導や他の学習テーマとの関連もあり十分な時間が確保できなかった。
- ・校内や学区内の環境調査や絶滅危惧種等の調査は時間を十分かけられなかった。今後、継続して活動することによりさらに内容を充実させていきたい
- ・
- ・地域の「植物、昆虫マップづくり」は取り組みが軌道に乗ってきたばかりであり、季節も夏が中心となった。今年度の成果を基本として春夏秋冬全ての季節に広げ、引き続き調査を継続していきたい。

### 5. 発表論文、投稿記事及び当財団へのご意見など

- ・学校の創意工夫や特色ある独自の活動を支えてくださり、感謝申しあげます。今後も貴財団の学校教育へのご支援をお願いするとともに今後のご発展を祈念いたします。